

"GINGA" Daily Report

Ver 1.4

1987 MONTH: 2 DAY: 24 Y+ 19

Written by: 井上 百田

OPERATION: BFM 書き換えでます。ドリフトを用いた学習変更

		[PASS 1]	[PASS 2]	[PASS 3]	[PASS 4]	[PASS 5]
NO.		870223-1135	870223-1239	870223-1342	870223-1446	870224-0001
AOS LOS		17:25:24 17:37:57	19:06:45 19:20:47	20:48:54 21:03:07	22:31:25 22:45:18	0:14:03 0:27:08
ELMX TIME		15.36 17:31:19	46.19 19:13:17	85.22 20:55:32	79.96 22:37:57	36.73 0:20:08
C O M M A N D S		SH-REP PC 書き換え OG-1 PC START	BFM(書き換え) OG-1 PC START	OG-1 PC START	BC ENA-1 [08,00,16] BC ENA-1 [0C,FD,1C] BC ENA-1 [0D,2B,5C] (ドリフトを補正 して、ドリフトを ドリフトで) OG-1 PC START	OG-1 SH-REP PC CONTINUE (25-17DLZ 100)
MODE	←	ACS				→
TLMS		SH-REP	レンジング	レンジング	レンジング	SH-REP
SANGL		—	162.2	162.2	162.1	161.4
ACS		BFM 書き換え 予定だったが、でず	BFM ON が必要 だった。	NOP	ドリフトを補正	NOP
LAC		NOP	NOP	NOP	NOP	NOP
ASM		NOP	NOP	NOP	NOP	NOP
GBD		NOP	NOP	NOP	NOP	NOP
E V E N T		ACE の IRV での パルスが 10 個以上 かたのとき、BFM 書き 換えを (1) 行なうが、 誤作動に陥る → 2nd Pass へ移行。	BFM WRITE を 行なう。BFMON が 必要であることを知 りながら、でも、あ まり、2nd Pass には 4 行ないでいる。	BFM 書き換え時 には、ドリフトを で、NOP とする。	昨日の 4 周目、 STT にいい量か はいるようにドリフト させる。	
PC	ST T	17:33:30	19:16:01	20:58:01	22:39:59	0:21:59(100)
	P L A N	<2> TMS ON <3> BIT MED <4> BDR REC <2> OG-2 <4> TMS HI <4> BDR STOP <4> QUICK HI	左に同じ	左に同じ	左に同じ	<102> TMS ON <103> BIT LOW <104> BDR REC <553> BIT MED <611> OG-2 <612> TMS-HI <613> BDR STOP <614> QUICK HI <615> PC STOP
C O M M E N T		0.今日は、ACE のプログラム中の書き換えで (2) のでランコマンド MIN.-BAT-V(EDD) V 結果から見て、1 つ目は、動作が、書き換えの内容が 360-53300-MS50 の間で伝送されるので、 MS50 と伝送された内容が、動作から送られたものと一致した。2 番目に、オペレーションが、あつた ます。第 2 回目の理由は、BFM 書き換えの手順が、コマンドが正確なものであるから、と思われ の人達、ここでわがことと、思っていたが、ここで、MS50 の書き換えリストをつけたので、BFMON には、(1) からの、というので、私も、正確に、BFM ON が、必要であることを、と、思っていたので、 安全側の対応と、とりよした。プログラム書き換えを、また、するの、以後、NEC の責任で、 3 行ないで、思っている。				